
























プログラム名	ふわふわ、さくさく、木～もちいい♡						
対象年齢	年少 年中 年長						
ねらい メッセージ 発見・体感 できること	自然の循環に気づこう						
	<ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもり、声（木の音、ひびきなど） ・風の音 ・葉っぱの感触や重さ ・土のにおいや土の中に棲んでいる生き物の発見 						
参加者のめやす	幼児 70人 / 支援者 4人						
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			●配慮・アドバイス◎アレンジ			
5分	<p>①好きな木を探し、観察したりふれたりする ・抱きつく(一人で)</p> <p>あっ、クモヤー</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・木と話す ・ルーペで見る ・上を見る (大きさ・高さ) ・風が葉っぱを揺らす音を聴く ・揺らしたり、押ししたりする ・木の根元を見る  			<ul style="list-style-type: none"> ●ウルシなどの木に注意します。 ●1本の木に1人でなくてもかまいません ●木は怖いものではなく、「やさしいもの」と思えるアプローチをしましょう。 ●子どもたちが木のぬくもりを感じたり、風の音に気づいたりできるようにしましょう。 ●1本の木から全体の木へ、森、林を意識させましょう。 ◎木と木をロープでつないで迷路を作り、クモの巣ゲームでスリル感を味わうことができます。 →森-9「くもの巣ゲーム」参照 ●子どもたちの興味や関心が他にある時は、面白いと思うものでまずあそんでから、今あそんでいる内容に注目できるようにしましょう。 ◎“木オニ”などルールのあるあそびに結びつけることができます。 ◎画用紙で作った目玉を木に貼り、何に見えるか見立てあそびができます。 ◎ルーペでみた生き物を、他の子どもに紹介し、発見や驚きを共有します。 			



時間	活動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	②葉っぱを集める（グループ）	●栗のイガは集めないように伝えます。 ●集める場所を伝えます。
10分	③葉っぱであそぶ ・投げる ・飛ばす ・かぶる ・寝る ・握る、つぶす ・においをかぐ <div data-bbox="391 526 766 728" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「葉っぱのグラデーション」 のあそび方</p> <p>白い布の上に葉っぱをならべることで、緑から黄・赤・茶色に変化する様子を観察するあそびです。</p>  </div>	◎“葉っぱのグラデーションあそび”ができます。葉っぱの色の変化を見ることから土へと選っていく葉っぱの姿に気づけます。 ◎同じ種類の葉っぱを見つけたり、葉っぱの親の木を探したりすることができます。 ◎グループになって葉っぱで絵を描くことができます。 ●葉っぱの感触や重さ、土のにおいを感じとり、土の中に棲んでいる生き物を探してみます。 <div data-bbox="805 728 1045 817" style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> カブトムシのにおいやー。 </div> <div data-bbox="726 840 949 974" style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> ほんまに葉っぱが細かくなった土や！ </div> <div data-bbox="1061 694 1260 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="837 996 1412 1243" style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>【豆知識】ミミズの育て方</p> <p>準備物：観察ケース 給食などででる残飯 土 砂 葉っぱ ミミズ</p> <p>観察ケースに土、砂、葉っぱ、残飯を層にして入れ、ミミズを入れます。土はいつも湿った状態にしておきます。残飯や土がどうなっていくか観察します。</p> </div>
5分	④土を掘る ・手で掘る ・道具（木の枝など）を使って掘る ・においをかぐ ・虫を見つける ・ルーペで見る <div data-bbox="406 985 694 1187" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	
5分	⑤ふりかえり ・木と葉と土との関係を子どもと共に考える	●土がどのようにしてできるのかや、落ち葉は虫の餌や虫の糞、土と混ぜて木の栄養になることなど自然の循環について話をします。 ●食物連鎖の事象（虫の死など）に出会った時、どこにつながっていくのかを伝えます。 （例）虫は死ぬと土に還っていきます。
<p>【異年齢への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆0歳児：座って葉っぱを触ってみましょう。（葉っぱの感触） ◆1歳児：葉っぱの上を歩いてみましょう。 ◆2歳児：的（ロープを輪にして地面に置くなど）に葉っぱを投げ入れる遊びをしてみましょう。 ※口に入れないよう注意します。 ◆年少：触ることが中心です。 ◆年中：体験をします。 ◆年長：体験したことを踏まえ、発展させていきます。 		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ルーペでみた生き物を図鑑で調べてみましょう。 ◆落ちている自然物を使って、身近に使えるものを作ってみましょう。 （例）小枝で写真立て 木の葉のキーホルダーなど ◆葉っぱから土の循環に気づくためにミミズを育ててみましょう。 ◆山の土で植物を育てて、寄ってくる虫たちを観察してみましょう。 		
準備物・教材等	・ルーペ ・画用紙で作った目玉（木の見立てあそび） ・白い布（葉っぱのグラデーションあそび）	